

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

1. 学校概要

学校名 大牟田市立白光中学校

種別 幼稚園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒836-0005
福岡県大牟田市椿黒町32

E-mail : hakkou-js@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/hakko-jh/

児童生徒数：男子 122名 女子 151名 合計 273名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

【福祉教育】

- 1年… 認知症絵本学習を行い、認知症をめぐる現状理解と認知症の方との接し方についてスキル・心情の両面から学習をすすめた。
- 2年… ペア・ショッピング（お年寄りと中学生との混合グループによるショッピング）を行い、ハード面・ソフト面の整備状況について検証し、学習成果をもとに行政機関に提言活動を行った。
- 3年… 保育体験実習を行い、小さな子どもと関わる上でのスキル・心情面からの学習を行った。

【1年生の取り組み】

①徘徊ロールプレイ

認知症についての取り組みが進んでいる町として大牟田市は全国的にも有名であり、その取り組みをリードしておられる「認知症ケア研究会」の方々がゲストに招き、次のような学習を行った。まずは、認知症に関する絵本教室によって、認知症に関する気づいたことをもとにグループ討議を行った。次に徘徊ロールプレイを行った。

これらの学習を通して、認知症の方に実際にどのように接していけばよいのかを深く理解することができた。

②福祉支援施設での体験活動

1学期の福祉学習をふまえ、これまでの学習の成果、スキルや共感的理解を生かし、実際に、福祉施設での体験学習を行いました。

介護支援施設で働かれている方から高齢者との関わりや「福祉のころ」について学び、学習を深めました。最初は、様々な高齢者の方の発言や行動に対して生徒は戸惑いの表情を見せていた。しかし、事前に学習した高齢者の方との対応の仕方や声かけのしかたなどのスキルを活用して高齢者の方と接することができた。

【2年生の取り組み】

高齢者施設を起点にして、1グループに1～2人の高齢者の方と一緒に商業施設や公共施設などを訪れ、その場所について、高齢者の視点から見て工夫された点や改善すべき点をまとめた。改善すべき点は、「中学生からの提言」としてまとめ、大牟田市都市整備部 建築住宅課 と大牟田市中心地区商店街連絡協議会に提出した。



具体的には、地域の高齢者の方とのペアショッピングを行いました。ただ歩くだけではなく、高齢者の方がもっと買い物しやすいように、もっと歩きやすいようにするにはどうしたらよいのか、トイレなどの表示はわかりやすいかなどを調査しながら、近くの商業施設に行き、高齢者の方とともに買い

物を行いました。

普段歩いている道路について、高齢者の方と一緒に歩くことで、気づいたことがたくさんありました。

- ・昨年と同じように改善してもらおうとうれしいな。
- ・優しい街づくりが行われているなあ。
- ・もっと、みんなにとって住みよい街になるといいな。
- ・高齢者の方に優しい街になりますように。
- ・他の施設も調べてみたい。



【3年生の取り組み】

3年生は、大牟田市内の6つの幼稚園・保育園の協力を得て、保育体験を行いました。

1・2年生の時に高齢者の方との接し方について学んできました。今回はその学びを生かし、自分よりも幼い子どもたちにどう声掛けをし、どう接すればいいのか工夫していました。